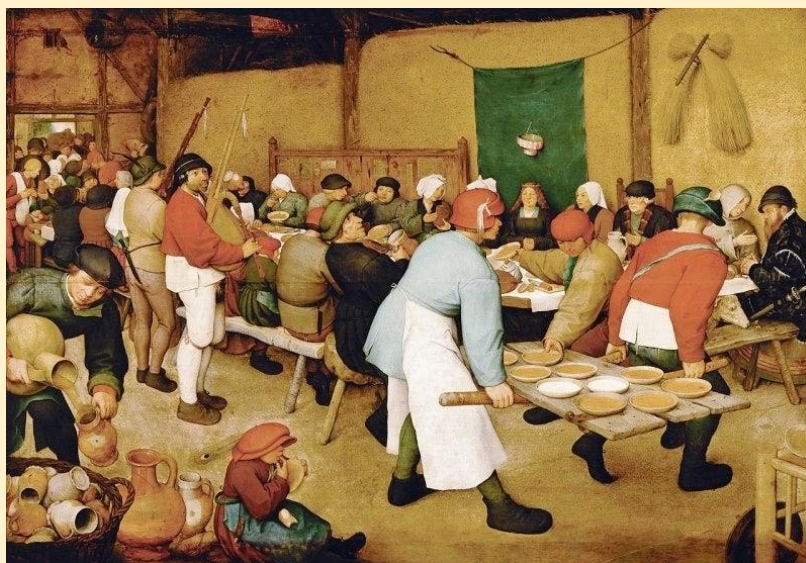


## 第一回 「栄養とは何か？」



宗教は狭い範囲の活動ととらえられがちですが、本来は世界のあらゆる領域に生きている「隠れた現実」ではないでしょうか？

そのような観点から「宗教」をとらえなおし、キリスト者共同体のめざす現代にふさわしい宗教のありかたを探ってみたいと思います。

本セミナーは年四回程度の開催を予定しています。第一回のテーマは、誰にとっても大事な「栄養」についてです。医師、言語形成家、司祭による講義と、参加者の皆様との話合いがあります。関心のある方の積極的なご参加をお待ちしております。

**2025 年 2 月 24 日 (月・休)**

**開場 13:00 開始 13:30 終了：17:00**

**会場：学芸研究室・Mercure** (東急東横線学芸大学駅下車 徒歩5分)

**講師：堀雅明(医師)、岩崎晴江(言語造形家)、輿石祥三(キリスト者共同体司祭)**

定員：20名 zoom によるオンライン参加あり。

申込締切：2月16日(日)(先着順、会場参加は定員に達し次第締切ります)

参加費：自由なご寄付をお願いします。

オンライン参加の方には受付に際して寄附振込先をお知らせします。

申込先：下記申し込みフォームよりお申し込み下さい。

<https://x.gd/0MFpO>



申し込みフォーム

## プログラム

### 13:30 -14:20 講演と質疑 「体と栄養」 講師：堀雅明（医師）

「この地球上あらゆる物質、あらゆる物質粒子は、まぎれもなく濃縮した光そのものなのです。そして、我々が食べ、消化する時はいつも、物質から物質のになう光の結晶が放出されるのです。これこそが、消化過程の本質なのです。」 ルドルフ・シュタイナー

さて、私たちは、何をどう食べればよいのか？皆さんとともに、探ってみましょう。

### 14:20 -14:50 ワーク「言葉と栄養」 講師：岩崎晴江（言語形成家）

「栄養」－心と体を健やかに養い創造すること、それは呼吸と深く関係します。言語形成の語りのメソッドでは呼吸というリズムが何より大切です。そして「言葉はリズムと音の間から生まれてくる」と言われています。それを少しでも体験していただきたいと思います。ルドルフ・シュタイナーの短いマントラと一緒に語ってみましょう。

休憩

### 15:10 -16:00 講演と質疑「宗教と栄養」 講師：輿石祥三（キリスト者共同体司祭）

人間にとって心の栄養は不可欠ですが、さらに無常な現実を超え永遠にまで至る「霊的栄養」も必要です。古来、宗教は祈りや祝祭の中でそのような霊的栄養を提供し続けてきました。特にキリスト教の「聖餐」はいまだ謎に包まれています。日常から神的な現実につながるその意味について考えてみたいと思います。

休憩

### 16:10 -17:00 質疑応答

（時間は変更の可能性がります）

これからの予定

第二回 2025年4月29日（火・祝）、

第三回 2025年6月ないし7月、

第四回は秋頃予定。

会場：学芸研究室メルキューレ

〒152-0004 東京都目黒区鷹番 1-14-16

東急東横線「学芸大学駅」東口より徒歩5分



### お問合せ：

キリスト者共同体東京集会

〒146-0084 東京都大田区南久が原 2-16-19 1F

Mail：tokyo@kirisutoshakyodotai.org Fax：03-3757-4917

URL：http://www.kirisutoshakyodotai.org/tokyo.html